

# 機能性酸化物の原子・ナノスケール 機能開拓最前線

企画：機能性酸化物研究グループ

9/15(火)  
開催

2J会場 13:45-18:30

次世代エレクトロニクス、創・省エネルギー材料のキーマテリアルである酸化物の専門分野は多岐にわたり細分化されています。

本シンポジウムでは、“原子・ナノ”をキーワードに「構造評価」・「構造制御」・「機能探索」の最先端研究を俯瞰していただき、領域横断的な交流を助け、連携を深めることを目的として開催します。

多数のご来聴をお待ちしております。

## 招待講演

- ◆ 酸化物界面の原子構造解析と機能特性（基調講演）  
幾原 雄一（東大院工）
- ◆ 原子レベル構造制御基板上でのエピタキシャル薄膜の  
“室温”創製と機能開拓  
吉本 護（東工大院総合理工）
- ◆  $\text{TiO}_2\text{-VO}_2$ 系における異方的スピノーダル分解とその制御  
村岡 祐治（岡山大院自然）
- ◆ ReRAMの書き込み・消去サイクルにおける導電性フィラメント  
のTEM内その場観察（基調講演）高橋 庸夫（北大院情報）
- ◆ 2次元酸化物ナノシートの精密構造集積と機能化  
長田 実（NIMS）
- ◆ ReRAM動作における金属イオン拡散とフィラメント形成の特徴  
長谷川 剛（早大先進理工）

世話人：神吉 輝夫(阪大)、島 久(産総研)、廣瀬 靖(東大)、松野 丈夫(理研)  
組頭 広志(KEK)、田中 秀和(阪大)、秋永 広幸(産総研)